



5月・6月は検診月間です。  
積極的に受診しましょう。(詳細は18ページに)

■人口と世帯■

世帯数	1,402	(+1)
人口	5,376人	(+18)
男	2,683人	(+7)
女	2,693人	(+11)

昭和62年3月末日現在  
(住民基本台帳登録人口)

■おもな内容■

- 2～9…昭和62年度町政執行方針
- 10～12…昭和62年度教育行政執行方針
- 13…議会だより・職員人事異動
- 14～15…昭和62年度各会計決る
- 16～17…一般質問
- 18…あなたと保健室
- 19…りしりの博物誌
- 20…消防だより
- 21…利尻町事務分掌一覧表
- 22…戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録5月1日現在2053日

# 高率的な行政の実現に向かって

## 昭和六十二年

## 町政執行方針

町長 保野力雄



昭和六十二年第一回利尻町議会定例会の開会にあたり、町政執行に臨む私の所信と基本的な方針について申し上げ、町議会議員の皆さん並びに町民皆様のご理解とご協力をいただきますと思います。

昨今の社会経済情勢に起因する

厳しい財政状況下において、国・地方を通じて行財政の抜本的な体質の改善を急ぎ、我が国経済の着実な発展と、国民生活の安定向上を図るためには、引き続き行財政の改革を強力に推進し、その対応力の回復を図ることが国民的課題となっております。

本町の財政をみますと、現下の内外経済情勢の動向、更に人口減少の推移から、地方交付税は減額要素となっており、又、国、及び道の制度施策の抜本的見直しによる国庫補助、負担金等の整理合理化、及び高率補助金の引き下げ措置などにより補助金等の減額が見込まれ、極めて厳しい財政運営を強いられております。

私は、先に「行政改革推進委員会」更に「議会の皆さん」からいただいた提言をふまえ、広く町民の皆さんのご意見を伺い、勇断をもって施策の選択を行うとともに、その効果的な執行に努め、次に申し上げる町政の目標に向かって、一層の前進を図っていく決意であります。

議員の皆さんをはじめ、町民皆様のご助言とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

特に水産業の振興は、町政執行の第一の柱であります。漁業者はもちろん漁協及び町関係者が一丸となって、その振興のため邁進しなければならぬと考えております。

昭和六十二年度におきましては、次に申し上げる事項に特に配意しながら、町政を執行してまいる所存であります。

昭和六十一年度を振り返ってみますと、皆さんが非常に心配されていた流水の接岸もなく、昆布は近年にない豊漁でありましたし、ウニもかなりの生産が

ありまして、誠に喜ばしいことでありました。

又、「利尻町新総合振興後期三ヶ年計画」にのっとり、各種の水産振興事業、港湾漁港の拡張整備、道路網の整備など、産業振興のための基盤整備を進めてまいりました。

更に、公営住宅、教員住宅の建設、生活排水処理施設の整備など、生活環境の充実に努めたほか、人づくりや文化の面についても、積極的に各般の施策を進めてまいりました。

国・地方とも財政の硬直化が一段と加速され、又、円高不況による経済の低迷が続くなか、町政が着実に進展し、「利尻町のシンボル」とも言うべき、役場庁舎の新築工事に着手できましたことは、議員の皆さんをはじめ、町民各位のご協力の賜りものであり、ここに深く感謝申し上げます。

昭和六十二年度は、国・道・市町村とも財政の非常に厳しい年であります。より効果的な行財政の運営に心がけ、町民皆さんのしあわせのための事務事業

を優先的に取りあげ実施してまいります。

### 町財政について

国は、昭和六十二年度の予算編成にあたり、我が国財政を取り巻く環境には一段と厳しいものがあり、経済の着実な発展と

国民生活の安定、向上を図るためには、引き続き財政の改革を協力を推進し、その対応力の回復を図ることが緊要であり、このため社会経済情勢の変化に応じて、更に歳出の徹底した見直し、合理化に取り組みと共に歳入についても、その見直しを行う必要があるとしております。

本町としても、このような厳しい行財政の状況を充分認識するとともに、住民に身近で且つ総合的な行政主体として、社会情勢の変化に的確に対応し、住民の信託に答える必要があるものの、一般財源の大宗をなす地方交付税は、国の総額で前年比

〇・六％と僅かな伸びとなっておりですが、一昨行われた国勢調査の人口減等により、前年度交付額に及ばないことが予想されます。又、昨年の我が町の根付け漁業は近年にない豊漁でありましたが、漁業所得そのものが低く町税へのはねかえりは多くを望めず極めて厳しい財政運営を強いられております。

昭和六十二年度の本町の予算は、義務的経費の増嵩は別として、經常経費及び補助金交付金については、前年度同額か以下に抑制し、増加する多種多様な行政需要を選択しつつ、最重要施策の水産振興事業をはじめ、新庁舎、道路整備、公営住宅の建設など、新総合振興後期三ヶ年計画ののっとり、予算規模三十三億五千四百万円で編成しております。

現在、国・地方を通じて深刻な財源不足の状況下であり、従来にまして事務事業の見直し、行政機構の簡素合理化、定員管理及び給与の適性化等により、

行財政の簡素高率化と経費の節減合理化を推進し、限られた財源の重点的且つ高率のな配分に徹し、節度ある財政運営を基本として、財政の健全化を進め住民福祉の向上確保に努めてまいります。

特別会計、企業会計についても、当該会計の趣旨にのっとり経営状況について充分分析を行い、安易に一般会計からの繰入れに依存することなく、健全な経営の確立に努力いたします。

### 職員の服務と研修について

公務員の汚職事件等の多発していることは、誠に残念なことであります。住民の信託を受け

のために、全力を挙げてこれに専念しなければならぬ職員として恥ずべきことであり、行政に対する信用失墜行為の最たるものであると思っております。

幸い、利尻町の職員は一人ひとりが本来の職責を自覚しこ

した問題の重要性を深く認識しており、今後も職場をあげて綱紀粛正の気風を培い、清潔にして公正な町政の執行に努めるよう指導してまいります。

私は、職員が本来の使命を果たし住民の信頼に応えていくためには、直接住民と接し事務事業の実施に携わる職員一人ひとりの能力と、資質の向上が大切であり、そのために職員研修の充実強化は、従来にも増して重要なことであると考えております。このような基本認識のもと

に、時代の要請に因應得る公務員としての自覚と責任感の高揚を図るとともに、幅広い知識と教養に基づく柔軟な思考力や創造力を養い、行政環境の変化に敏速且つ、的確に対応し得る職員の養成に努めてまいります。

### 行政改革の推進について

先にも申し上げましたように国・地方を取り巻く行財政の極めて厳しいなか、社会経済情勢



利尻町役場庁舎建設基本計画

の変化に対応しつつ活力ある利尻町を築き福祉の向上を図っていくため、引き続き行政改革を推進してまいります。

利尻町行政改革大綱に基づき本議会に提案しておりますように、現行の六課を一課削減して五課とし、係の再編整備を図る等、事務事業の見直し、組織・機構の簡素合理化、給与・定員管理の適正化、民間委託・OA化など出来るものから実行し、効果的な行財政の運営を図ってまいります。

行政改革は時代の要請であり、行政の役割を見直すとともに、簡素にして高率的な行政の実現に向かって努力いたしてまいります。

### 利尻町役場庁舎の建設と

#### 仙法志集会所施設の建設について

昭和六十一年度より二ヶ年計画で建設を進めております役場庁舎が今秋完成いたします。十月一日より新庁舎での執務体制をめどに、町民のシンボルとしての風格を備え、町民の皆さんが利用しやすく親しみのある庁舎として、立派に完成するよう

配意してまいります。又、仙法志地区に昭和六十三年度建設予定の集会所施設については、仙法志支所、公民館、おとしよりの研修憩いの場として利用出来る施設に建設するよう、本年度は設計等の諸準備を進めてまいります。

### 水産業について

近年、我が国の漁業情勢は、年々強化される国際漁業規制にあって、操業区域の制限拡大、漁獲割当の大幅削減、及び北洋漁業減船等厳しい状況にあります。本町の沿岸漁業においてもこの二百海里規制の影響により有数の好漁場とされていた北部日本海海域も、沖合底引船や韓国漁船の底引漁法により、漁場の荒廃が一段と進み、魚資源も

枯渇の一途にあることから、漁船漁業経営も逼迫する等重大な局面にあるといえます。一方根付漁業においては、過去二ヶ年の流水被害に遭遇したものの、特にウニ資源については、漁業者を始めとし改善に努めた漁場運営、大規模な漁場造成及び種苗生産対策等により順調な増産が図られつつあります。又、昆布の場合天然ものは

依然豊凶が著しいものの、養殖ものについては安定生産が出来るまでに技術向上が図られてきました。更に良質な生産物及び製品づくりを徹底化し、価格と需要の安定、供給体制の確立など、緊急対策としての課題が残されております。このような実情を踏まえ、私は更に安定した沿岸漁業に向かつて漁業者は勿論、漁協及び町関係者一体となった総力をもつて、この難局を乗り越えることが最も肝要と思っております。

特に不振を続ける漁船漁業の今後の対策としては、申すまでもなく昨年から継続審議となっている対韓二百海里法の適用実現と、国内底引漁船に対する徹底監視及びオッターロール漁法の全廃に向け、漁協共々運動を展開してまいりたいと思っております。

又、希望ある漁船漁業を進めるため、経営対策及び漁礁漁場開発等にも一層配慮し、生産意欲の高揚を図りつつ、生産の増産が期されるよう施策を進めてまいります。又、本年は昭和六十

十年に長浜大空沢から放流したサケの三年魚の回帰年でもあり願望が果たされることを願っているところであります。

次に根付漁業であります。ウニ、アワビについては徹底した漁場管理のもとで、種苗生産体制の確立、及び大規模な稚仔沈着物の造成等を進め、飛躍的な資源の増大を図りたいと思っております。

先ずコンブ養殖の場合、今や最も安定した漁業であり、しかも管内でも指導的役割を果たしております。更に安定生産と良質な製品づくりに全力を挙げるとともに、消費流通市場の確保と拡大を図り、我が誇りとする「りしりコンブ」の名声が、将来ともに保障できるよう関係者と協議し努力してまいります。



又、先に述べたように魚資源の生産環境は一段と厳しい現状のなかで、今後特に当町においては沿岸域、及び瀬内を利用した養殖事業も充分検討されることから、昨年から実施しておりますヒラメの養殖を引き続き行うほか、新年度は道立ふ化場の海中飼育とアワビの海中飼育試験を、両漁協とともに取組んでいきたいと思っております。尚、アワビの場合陸上養殖も

含め試験調査を続けませんが、早い機会に結論を得たいと思っております。更に又、先端技術や生命工学等による技術開発、及び資源開発等にも関心をもつてまいりたいと思っております。

次に沓形港整備であります。百余年の歴史ある小樽、利札航路と、稚内、利札航路の利尻島における拠点港として、生活物資を始め人員の輸送、産業、建設資材及び島内外の漁業基地として、町内は勿論島内の産業経済の発展及び教育文化の向上等に、重要な使命を果たしているところであります。

更に近い将来予定されている大型フェリー（三千ト）就航に照準をあて、又、活力ある地域づくりを目指して、昭和五十六年度からの第六次港湾整備計画に基づいて、拡張工事を進めてきたところであります。

本年度は、マイナス六・〇mのフェリー岸壁の完成と防波堤の胸壁嵩上げ及び防波堤の延長を計画しております。

尚、工事の埋め立てに要する土量が相当数予定されることか

ら、町砕石所から港までの運搬作業については、特に沿線住民の理解と協力を得ることと関係機関との連絡調整を密にし、事故防止に万全を期さなければならぬと思っております。

次に、漁業基盤である漁港整備であります。昭和六十二年度を以て第七次漁港整備計画が終了することになります。先ず仙法志漁港については、漁協冷

蔵庫周辺の道路整備とマイナス四・五m岸壁の整備。

新湊漁港は、南防波堤及び西防波堤の消波ブロック等による改良。栄浜分港は、西防波堤の延長整備。蘭泊漁港は、島堤の着工と浚渫が各々計画されております。又、御崎漁港については、第八次漁港整備に向けて関係者の理解が得られるよう努力をいたします。

尚、仙法志港は完成港、新湊港は内堀工事を含め計画通り第七次計画が終了することになります。

船揚場については利用実績等を勘案しながら逐次整備を図ってまいります。

更に海岸保全についても、海岸侵食が激しく危険度の高い地域から、逐次整備を進めてまいります。

# くらしの豊かな町づくり

## 農畜産業と

### 林業について

本町の農畜産業については、水産振興と深いかわりあいのなかで推移してまいりましたがこの振興には島内需給と言う地域の特性を考慮しての施策が必要であると考えます。

先ず農業については、依然漁閉期を利用した漁家の兼業として、そ菜類が自家用栽培されていますが、今後本町の高齢化が

進むなかにあつて、漁閉期を利用した自家用そ菜類栽培を更に一層奨励推進したいと思っております。

又、既存畜産業については、引続き指導機関の技術講習や個人指導等を実施し、飼養の普及向上並びに所得の向上を図ってまいります。

次に林業であります。森林は、水資源の確保、災害の防止等、人が生活する上で重要な役割を果たしていることは言うまでもありません。ご承知のように、本町の森林区域は厳し

い自然環境のなかで森林樹齢の老齢化が進み、過去に風倒木被害などが発生し、林地がたい廃し憂慮すべき状況にあります。私は、森林の果たす役割の重要性を認識し、これまでも森林施業計画に基づき、保安林改良防炎林造成事業、町有林造成事業、保育事業等を積極的に実施してまいりました。荒廃した森林地の豊かな緑の回復に努めるほか、災害防止上崩壊山地の保全のためにも、併せて治山事業を積極的に推進してまいります。

又、昭和五十九年度より町民の保健休養林として、整備が進められている富野生活環境保全林事業も、本年度が最終工となり秋の完成を目指しております。完成の暁には町民待望の憩いの場、森林公園として利用されるものと期待しております。

昭和六十二年度においても、各種継続事業の積極的な実施を図るほか、林道網の整備 私有林造林事業等を奨励してまいります。又、貴重な資源を火災等から守るため、山火事予防の周知徹底を図り、管理体制の確立強化に努めてまいります。



### 商工・観工・航路について

#### 一、商工業の振興について

本町は第一次産業である漁業を中心として、商業、サービス業等が次的に形成され、経済社会が構成されているなかで、商業は地域経済の発展と住民生活の向上に、多大な役割を果たしていることは申すまでもありません。近年、生活必需品については、町外、島外からの移動販売業者が著しく進出し、地元商品の販売力低下など、厳しい経営環境のもとにおかれております。このような環境のなかで地元商工業者の安定経営を図るため、経営者自らの結束と経営努力と相まって、経営感覚の改善、移動販売業者対策、共同購入仕入等、商工会を中心とする指導体制の強化と、融資制度の活用の推進を図り、融資制度の活用充実に努めてまいります。

#### 二、観光振興について

近年、国民の観光、レジャー、レクリエーション需要は、生活意識の多様化などにより、年々僅かながらも増加の傾向にあると思われまます。

このような状況の中で、地域の観光産業がより一層の発展を続けるためには、市場性の高い道外観光客の誘致、特に関東以西からの観光客誘致宣伝を図りながら、町内への滞在対策など受入体制の整備を進める必要性があると考えます。

特に本年は、稚内空港のジェット機就航が決定されるなど主要都市間との距離が短縮されることにより、離島観光振興にも大きな役割を果たすものと期待しております。

都市間短縮のメリットを最大限に生かし、離島観光産業の振興発展を図るため、宗観連を中

心として広域観光誘致運動を推進してまいります。

尚、本町の各観光施設等について整備充実を図るほか、公園内の美化、清掃等にも充分配慮しながら受入体制の強化を図ってまいります。又、町の経済活性化対策として地域の資源を活かした特産品づくりを始め、観光、レクリエーション、優れた自然の保護、地域に根ざした文化、コミュニティづくりなど着実に育てていくための町おこし運動が、活発に展開されるよう指導体制の確立を推進してまいります。更に今後、稚内空港を

核として都市間直結の水産物製品の消費拡大を図るために、水産物観光物産展を始めとして、地域の特色ある祭やイベント等を開催し、地場産業の振興に相乗的な効果をもたらされるよう努めてまいります。

#### 三、航路について

航路につきましては、離島住民にとって生活を始め産業、経済、文化に重要な役割を果たしていることは言うまでもありません。ご承知のとおり小樽、利札航路は低迷する経済不況の波

と、託送便トラック等、多様化する輸送交通の激しい経営環境のなかで、より一層の健全経営を図りながら離島住民の福祉向上のために、関係者が努力されるよう願うものであります。

本町としても航路を維持継続するために、小樽と利札三町の経済文化交流を一層推進し、船舶の大型化に向かって努力をしております。又、稚内、利札間航路につきましても関係者とも協議しながら、運航ダイヤの改善等利用不便の解消を図るなど、住民の生活航路としての維持改善を推進してまいります。

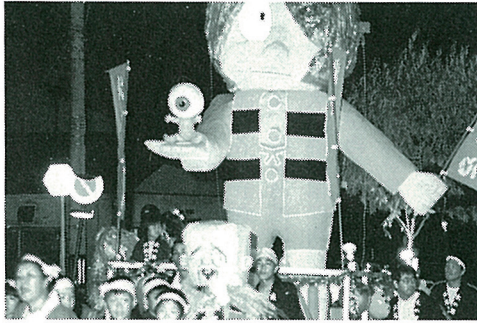
### 国民宿舎の運営について

これからの国民の余暇活動は日常生活の領域で増大するとともに、交通条件の改善、情報化の進展、休暇の長期化などを背景に、特色豊かな地域など広域的な領域へと一層拡大することが予想されます。

国民宿舎をとりまく環境は、

依然として厳しいものがありますが、道内外の国民宿舎、観光業者と連絡を密にしながら積極的に観光客の誘致を進めてまいります。

又、保養施設としての機能整備を図るとともに、運営面におきましては、諸材料の増嵩に加

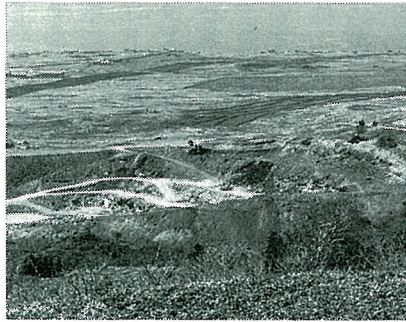




え、修繕費がかさむなど厳しいものがありますが、一層の経費節減に努め、安定経営に向かって最善の努力を傾注してまいります。

砕石事業について

本年度の公共事業は、昨年同様、国の財政改革の影響を受け非常に厳しい状況にあります。こうした状況から利尻島の骨材需要もかなり影響を受け、なかでも路盤用骨材の落ち込みが極めて深刻な状況にあります。販売に最大の努力をいたします。



本年度においても景気浮揚対策として、前倒しと、公共事業の早期発注が予想されることから工場の諸準備、各種許可申請など一日も早く、生産開始に支障ないよう事務手続を進めるとともに、骨材の供給に支障のないよう体制を進めてまいります。現場管理としては、災害、事故防止に万全を期し、作業員の安全意識を高め、又、年々厳しくなってきた品質管理にも配慮し、本年度の計画に従って努力いたします。又、礼文、稚内地区の移出業務についても、五月上旬から十月までの約六ヶ月間の販売計画を目指し、一層の努力をしてまいります。

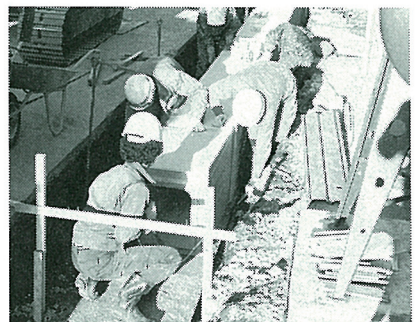
土木・建築事業と簡易水道について

昭和六十二年の本町の公共事業及び国庫補助事業は、国の財政状況の極めて厳しいなかでそのほとんどが関係者の特段のご理解とご配慮により採択され要求されていたものが全て予算づけられ、事業の進捗が図られることとなります。

国庫補助事業では、昭和六十年から四年計画で着工された沓形線改良事業が、本年度継続事業として五百mの改良工事と用地買収が施工されることとなります。特に本年度は、新規事業として、仙法志臨港線の改良、舗装事業（町道仙法志・鬼脇線から道々沓形・鷺泊線の区間二百三十二m）が施工されることとなります。

又、同じく新規事業として、市街東一条南一線並びに市街南二線、特殊改良二種事業（側溝改修）と、仙法志・鬼脇線防雪事業（御崎地区）が施工されることとなり、国庫補助事業による予算総額は、一億五千五百万円の計上となります。

公営住宅建設については、沓形、仙法志両地区にそれぞれ一棟四戸の第二種簡易耐火構造重ね建てを、新築する計画であります。



町単独事業では、町の苦しい財源のなかから、住民の数多い要望のうち、多年にわたる要望、更には緊急度の高い事業を重点として、道路、側溝、流末処理舗装、公営住宅の維持補修、又、冬期間の除雪作業業務など住民の生活環境の整備に努めるとともに、工事の施工については特に早期発注を図り、工期内完成を目指してまいります。

土木現業所直轄事業による道路等整備では、地区住民の多年にわたっての念願でありました町道仙法志・鬼脇線・青柳橋から御崎公園入り口前までの、延長一千四百mの全体計画のうち、二百m区間が採択され、知事代行として施工されることとなります。

又、同じく新規事業として、主要道々であり島内一交通量の多い東利尻・利尻線、種富町地区の特殊改良事業も採択され、逐次整備が図られます。

尚、継続事業としては、沓形・仙法志・鷺泊線（長浜地区）の改良並びに舗装工事が施工されることなど、道々の舗装、照明灯、側溝及び集水桝等、維持補修の予算確保についても、関係者の努力により、逐次整備が進められることとなります。

次に、簡易水道についてですが

沓形、仙法志、両簡易水道施設、設備の整備については逐次整備され、そのほとんどが完了し、利尻町全域にわたって水の安定供給が図られております。

又、昭和六十年度に水道料金の改正がなされた関係から、収入増が図られ、目下簡易水道会計の健全運営が行われているところであります。

本年度は施設設備の維持管理

上、現在予備井戸としております、沓形簡易水道開設当時の一号井戸について、揚水試験を行いその結果、如何にして予備井戸として存続するか、どうかの結論を出す考えであります。

尚、施設の維持補修等については、道々、町道、側溝等の整備工事に伴い、水道管の改修及び管径の布設替えを行うほか、井戸、配水池・計装器機等の維持管理に万全を期し、水需要の安定供給に努めてまいります。

減を期して交通安全運動を強力に推進し、全町民の悲願であった交通事故死ゼロ二千日を、本年三月九日をもって達成いたしました。交通事故を防止するためには、町民一人ひとりの「人命尊重が何よりも優先す」という認識が肝要であります。

### 交通安全について

近年、車社会の進展と共に、交通事故も増加の傾向にあり、このため多数の尊い人命が失われていることは、誠に痛々しい限りであります。

こうしたなかにあつて、幸い我が町は昭和五十六年九月十六日に死亡事故発生以来、事故絶

## 明るく住みよい町づくり

### 住民福祉と保健医療体制について

#### 一、住民福祉について

近年、平均寿命の着実な伸長や出生率の低下、核家族の進行等に伴い、人口の高齢化が進行し、家庭や地域社会を取り巻く環境が変化する情勢下にあつて私は、お年寄りと若者や、心身

障害者、母子、低所得者など社会的、経済的に恵まれない立場にある方々が、安定した生活が送れるよう、差別や偏見のない温かい心の通いあう社会で、ともに生き、ともに歩むことのできる生活が、福祉の基本理念と考えます。

#### 二、高齢者福祉

極めて大きな役割を果たしており、一層育成と充実に努め、行政と民間が相互に協調関係を、保つてまいりたいと考えております。加えて、福祉が地域に根ざしたものである上で、ボランティアの発掘に努め、その活動の助長を図りながら、地域に即した福祉社会の、実現を目指して、各般の施策を進めてまいります。



私は、国・道・市町村を通じて極めて厳しい財政事情下ではありますが、地域住民が健康で明るい生活の保障が得られるよう、これまで進めてまいりました。各般の福祉施策を長期的視点に立って、現状を再点検し、緊急性、重要性についても充分検討を加えながら、的確な判断に基づき、計画的に推進してまいります。又、地域住民参加による福祉活動は益々重要視されている今日、社会福祉協議会を中心とする、各種民間団体が行う民間の特性を生かした弾力的且つきめ細やかな福祉活動は、



高齢人口が急増するなかで、核家族化、あるいは扶養意識の変化等、お年寄りを取り巻く環境も、次第に厳しさを増してきて



おります。私は、このような情勢下にあつて、永年、住み慣れた郷土を愛し、郷土発展のため貢献したお年寄りに対し、健康で明るい心の通い合う老後の生活ができるよう、配意してまいります。

又、低所得者を始め、心身障害者及び児童・母子の各福祉についても、きめ細やかな配慮をしております。

### 三、年金制度

老後における所得保障に、重要な役割を果たしている年金制度に対し、住民の期待と関心は極めて大きいものであります。年金受給権の確保のため、相談事業を積極的に進め、住民サービスの上を図ってまいります。

### 四、保健医療体制について

豊かな生活基盤を築くためには、何といつても健康が最大の資本と考えます。

近年生活水準の向上、公衆衛生の推進並びに医学、薬学や医

療技術の進歩に伴い、遂次住民の健康水準は向上されつつあり今や我が国は長寿世界となり、人生八十年時代を迎えようとしております。

一方、食生活の改善、人口の高齢化なども加わり、疾病による長期療養を要する者も多く、まだまだ疾病者は増加する傾向にあつて、疾病構造も大きく変化し、全国平均同様、我が町も循環器患者が多い状況で、成人病対策が課題となっております。そのためにも、疾病の予防と早期発見が最良と考え、その対策として、自分の健康は自らが

## 創造性に富んだ 人づくり

今日、多様に变化する社会情勢のなかで、二十一世紀を展望し活力ある地域社会を築いてゆくためには、社会環境に適切に対応し得る創造力とたくましさをもった、心身ともに健康な児童生徒を育成することが、何よりも大切であります。

守り、管理するという保健衛生思想の普及に努めるとともに、健康教育を始め健康相談、健康診査、各種ガン検診等を重点に実施し、成人病予防と受診率の向上に努めてまいります。

併せて、保健婦については、当分二名体制を保持し、保健活動の推進を図ってまいります。医療については、昨年より国保中央病院は、内科医二名、外科医一名の常駐、婦人科医は月二回診療となりましたが、六十二年度もこの体制を堅持し、医療の地域格差の解消が図られるよう努めてまいります。

又、町民一人ひとりが、生涯にわたつてその個性、能力を伸ばし、生きがいのある生活を送るためには、生涯教育の観点に立つて、「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学習できる機会と、学ぶ意欲が大切であると考えております。

教育委員会との緊密な連携を保ちながら、諸条件の整備を図り、地域に根ざした魅力ある地域社会づくりに、最善の努力をしております。

次に、スポーツ、文化の振興について申しあげます。食生活の改善、日常生活の合理化に伴い、生活に「ゆとり」や「やすらぎ」を求める意識が高まり、年々スポーツ人口が増えております。又、芸術文化に対する関心と欲求も、日増しに強くなって来ております。

私は、これからもスポーツを通じ、人と人とのつながり、人間的な連帯によつて生じるコミュニティを、大事にするよう進めてまいります。

文化の振興についても、各種文化団体が行う文化活動を、積極的に援助してまいります。昭和六十一年度をもつて閉校する久連小学校の施設利用については、効果的利用が図られるよう、今後、関係者と充分協議してまいります。

み、今日の利尻町の基盤を築きあげてまいりました。

今に生きる私達は、その歴史と風土を引継ぎ、これを厳しい時代に生かしていくべき、新開拓者であると考えております。

この北の大地に誇りを持ち、活力あふれた利尻町の実現に向けて挑戦する力強い精神が全町に満ち満ちてくるとき、新しい時代が拓けることを、確信するものであります。国・地方をめぐる情勢はなお厳しいものがあります。私は「利尻町のためには何が必要か」を、町民の皆さんとともに、改めて問い直してみなければならぬと考えております。そして、町民の皆さんと心をつなげて、果敢に進んでいく決意であります。

町議会議員の皆さん、町民の皆さんのご理解とご協力を、切にお願ひ申し上げ、私の所信の表明を終わります。



# 昭和六十二年

# 教育行政執行方針



利尻町教育委員会

教育長 五十嵐 国夫

昭和六十二年、第一回利尻町議定会定例会の開会にあたり、昭和六十二年の利尻町教育行政の執行に関する主要な方針を申し上げ、その推進に努め、本町教育の一層の充実と発展を図つてまいりたいと考えておりますので、町議会議員並びに教育関係者をはじめ町民各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。

近年、我が国は、経済や科学技術について著しい発展を遂げております。

こうした社会の進展は同時に国民に情報の量的拡大をはじめ、

生活意識の変化や価値観の多様化をもたらし、教育の在り方にも大きな影響を与え、時代の進展に対応する教育の実現をめざして、今さまざまな論議や提言が活発に行われており、ますます大きくなっております。

こうした社会情勢のなかで、社会的要請にこたえ、ともに二十一世紀を展望し、活力ある地域社会を築いていくためには、社会環境に適切に対応し得る創造力とたくましさをもった、心身共に健全なる子どもを育成することが何よりも大切であると存じます。

また、町民一人ひとりが、その個性と能力を伸ばし、生きがいのある豊かな生活を送るためには、生涯教育の観点に立つて

諸条件の整備を図り、魅力ある地域社会づくりに努めることが肝要であります。

利尻町教育委員会は、このような今日的課題と町民の期待にこたえるため、極めて厳しい財政環境にありますが、創意と意欲をもって効率的な行政の執行にあたり、学校教育・社会教育・スポーツ及び文化の着実な前進を期して、諸般の施策を推進してまいります。

## 学校教育

まず、学校教育について申し上げます。

学校教育は、人間尊重の精神に基づき、児童生徒の心身の調和のとれた発達をめざし、健全な国民の育成を期して行われるものであります。

今日の教育の現状を踏まえて、進展する社会のなかで学校が今後その役割や機能を十分に果たしていくためには、自ら考え判断し実践する力を育てることを重視しながら、人間性豊かな児童生徒の育成に努めることが大切であります。

このため学校においては、児童生徒の実態や地域の教育課題を踏まえ、学校の特色を生かして児童生徒の生き生きとした活動を生み出す、ゆとりある、しかも充実した学校生活とするよう、創意に富む教育活動の推進が必要でありますので、学校と連携のもとに、その達成に努め、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成に努めてまいります。

なお、本年度は次の重点を推進し、学校教育の一層の充実に努めてまいります。

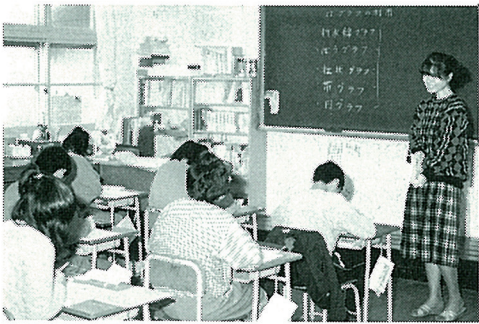
- ◎ 厳しい自然のなかで豊かな心をもった児童生徒の育成をめざし、創意に富み活力ある利尻町学校教育の推進に努める。
- 一、創意ある教育課程をめざし、研修の充実と意欲的参加を図る学校経営
- 二、基礎的・基本的な内容を身につけさせ、学びとる喜びを大切にす教科指導
- 三、豊かな道徳性を養い、すすんで実践する態度を育てる道徳教育
- 四、自主性・社会性を培い、実践的態度を育てる特別活動

五、心のふれあいを大切にし、意欲的に自己を高める生徒指導

六、運動の生活化をめざし、自らをたくましく鍛える健康・安全指導

七、小規模校の特色を生かし、一人ひとりを伸ばすへき地、複式教育

学校教育における最大の教育環境は教師であると言われるように学校教育の成果は、直接教育に携わる教職員一人ひとりの熱意や優れた指導力に負うところが大きいだけに、教職員自らがその使命と責任を自覚し、そ



の専門性を高める必要があります。

教員の専門性の向上は不断の研究と実践によってなし得るものでありますので、研修活動の基盤であります校内研修の充実、町教育研究会活動への援助・各種研修会等への参加を促進し、専門性の向上を図ってまいります。

なお、深刻な社会問題となりました児童生徒の非行やいじめなどの問題行動でありますがいじめについては最近減少の傾向にあると言われるものの、いじめは陰で行われる場合が多く予断を許さないものがありますので、今後共全職員が共通理解のもとに一致協力し心のふれあいを大切にした生徒指導を進めるとともに相談活動を実施し、さらには児童生徒の生活領域と深いかわりをもつ家庭や地域とも密接な連携を図りながら児童生徒の健全育成に努めてまいります。

また、児童生徒の健康保持推進を図るため、健康診断や心機能検査のほか、専門医を招い

して耳鼻科検診を実施してまいります。

学校施設の整備につきまして、小・中学校校舎及び体育館は各校ともその主要部分是不燃化構造に改築整備されており、特に大きな改築等はありませんが、改築後年数の経過に伴って、維持補修の必要性も出てきておりますので、緊急度を勘案しながら計画的に施設・設備の維持補修を進めるとともに、教材教具についての充実を図り、教育環境の整備に努めてまいります。

なお、教職員の生活環境の改善として、老朽が著しい住宅二戸を、国の助成を得て、建替えをいたしたいと考えております。

## 社会教育

人々が、その資質、能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を送るためには、生涯にわたって主体的に学ぼうとする意欲をもつことが大切であります。こうした意欲を助長し、「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学べるように学習機会の整備や拡大に努めていくことが必要

であります。

特に多様に変ぼうする今日の社会情勢は、町民の生活意識にも様々な変化をもたらし、学習要求も多様化、高度化しておりますので、生涯教育の観点に立つて町民の学習要求に対応するための条件整備に努め、社会教育の一層の推進を図ってまいります。

人づくり、町づくりは行政だけでなく、できるものではありません。町民の自主的・自発的な活動や連帯意識が育たなければ成果のあがるものではないと考えます。自らが事業、活動等に参画し、自分達の手で一つのものをなすとげたと言う成就感、充足感をもたせるため「一人学習」「一人参加」をめざして、その意識の高揚と活動の促進を図ってまいります。

青少年教育では、次代を担う青少年の健全な育成は町民等しく願うところであり、今日の大きな課題でもあります。青少年は、学校・家庭・地域社会の生活領域で様々な教育作用を受けつつ成長するものであ

ります。

青少年の健全育成を図るためには、学校教育ばかりでなく家庭や地域社会の果す役割が極めて重要であることにかんがみ、家庭教育機能を高めるとともに子どもたちが地域のなかで人間的な触れ合いや多様な生活体験を通じて、自発性や創造性を養うことが大切であります。

このため、本年度も家庭や地域の教育力向上のための家庭教育講習会の開催や町連P研究会への援助に努めるとともに、小樽・利札三町児童交歓会をはじめとする他市町村との交流事業や、少年の船への参加、宿泊研修を実施するほか、少年活動リーダーの育成や育成指導者の養成に努めてまいります。

勤労青年においては、青年のもつ若さと積極的な行動力をもって、地域社会の一員としての役割を担う活動が望まれます。このため、町内各青年団体組織との連携を図り、地域活動促進のための学習の機会を提供するとともに、中核的リーダーの養成に努めてまいります。



成人・婦人教育につきましては、地域に密着した学習活動の機会の提供や集団活動の指導援助を行い、各団体の自主的活動を積極的に促進して地域づくりの中心者としての意識の高揚に努めてまいります。

高齢者教育については、高齢化社会に向いつつあります今日、高齢者のだれもが、健康で生きがいのある老後を望んでいるところであり、そのためには、高齢者自身が心身の健康の保持と老齢期にふさわしい社会的能力を養う必要があります。また、今日まで社会に貢献して来た人

たちが豊かな老後を送れるよう援助・指導に努めなければならぬと存じます。

このため、高齢者大学の開設や趣味活動、社会参加などを促進して高齢者が生きがいをもって生活できるよう、これらの機会の拡充と内容の充実に努めてまいります。

芸術文化につきましては、生活水準の向上や、余暇の増加などで町民の生活意識は、より精神的な充実を求めようとする傾向にあり、文化活動への関心も高まっております。地域に根ざした文化活動の振興を図るため文化団体の育成に努め、町民文化祭についても町民が一人でも多く参加する文化祭として内容を充実し、芸術文化の向上に努めてまいります。

なお、児童生徒の生の芸術観賞に接する機会として巡回小劇場の開催や、子供文化の集いを実施してまいります。

また、町内に点在する文化財の保護、保存に努めるとともに教育的な活用を図ってまいります。

博物館の運営につきましては、資料の収集や調査研究をはじめ、講座の開設等の普及活動を推進するとともに、展示についても創意工夫を施し内容を充実させるなど、社会教育施設としての機能を果たし魅力ある博物館の運営に努めてまいります。施設整備といたしましては、全道的に数少なくなった鯨漁を物語る貴重な大型資料であります、保津船の保存と屋外展示のための格納庫も建設してまいります。

公民館につきましては、社会教育の学習の場として、また、コミュニティづくりの場として、各種教室、講座の開設や各種集いを開催して、地域に根ざした活動の推進に努めてまいります。図書室事業につきましては、読書を通して自己を高める学習を助ける役割を担っておりますが、まだ蔵書数について充分と言える状態に至っておりませんので、計画的に書籍の充実に努めるとともに、現在、一時的に老人福祉センターに設置しております図書室を研修センターに移し、恒久的なものとして整備

をし、利用の促進を図ってまいります。なお、蔵書の不足を補うため道立図書館に対して移動図書館により、図書室に長期の図書貸出しを要請し、町民への図書サービスに努めてまいります。体育・スポーツの振興につきましては、町民が健康で豊かな生活を営むためには、一人ひとりがその基盤となる健康や体力の保持増進に努めることが大切であります。本町におきましても、町民が自ら健康づくりとしてスポーツに取り組み意識が高まってきておりますので、この



意識をさらに伸長して生活の一部としてスポーツに親しむ「スポーツの生活化」を図ることが必要であります。

このためには、施設や指導者の確保が急がれております。本年度も運動公園をはじめ、スキー場、ふれあい広場や研修センター等の既存の施設の有効な活用を促進するとともに学校開放により、施設の確保とスポーツ指導者の養成に努めてまいります。また、体育団体との連携のもとに各種スポーツ大会への参加、町内スポーツ行事の実施・並びにスポーツ団体の育成強化にも努めてまいります。

施設の整備の主なものとして本年度は、天望山スキー場にリフトを設置して利用者の拡大を図ってまいります。

なお、本年度は次の重点により社会教育を推進してまいります。

◎創造性に富んだ人づくりと活力ある町づくりをめざす社会教育の推進

一、生涯学習を進める指導者の養成

二、自己を高める学習活動の展開  
三、施設の整備充実と有効活用

以上教育行政の執行方針について述べましたが、教育行政は人と人との関係を基本として行われるものであり、教育委員会、



教育関係者が共通理解のもとに一致協力する体制を整え、また、関係機関、団体との連携を密にして執行にあたる所存でありますので、町議会をはじめ町民各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

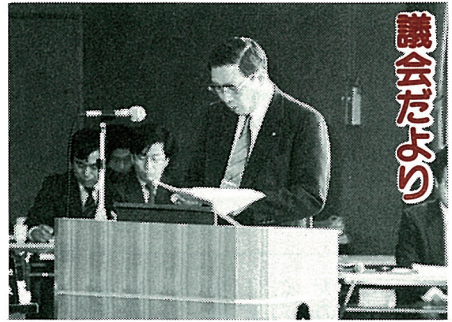
# 利尻町役職員及び施設電話番号

昭和62年4月1日現在 市外局番 01638

施設(役職)名	氏名	電話番号	施設(役職)名	氏名	電話番号
<b>役 場</b>			<b>諸 施 設</b>		
利尻町役場		代4-2345	杓形保育所		4-2319
町長公宅	保野 力雄	4-2113	仙法志保育所		5-1103
助役公宅	糸谷 克明	4-2919	利尻町老人福祉		4-2910
収入役宅	白幡 昭三	4-2722	センター		
総務課長宅	佐々木捷昭	4-2044	利尻町老人福祉寮		5-1407
民生課長宅	笹原 喜一	4-2781	寿の家<仙法志>		5-1822
水産課長宅	田島 順逸	4-2878	利尻町民センター		4-2917
商工課長宅	松田 実	4-3330	利尻町総合研修		4-2446
建設課長宅	柿元 秀夫	4-2533	センター		
<b>支 所</b>			利尻町立博物館		5-1411
仙法志支所		代5-1011	利尻町公民館		5-1049
支所長公宅	沢谷 勉	5-1574	利尻町栽培漁業		4-2459
<b>教育委員会事務局</b>			センター		
利尻町教育委員会		代4-2445	利尻町さけますふ化場		5-1569
教育長公宅	五十嵐国夫	4-2914	<b>学 校</b>		
教育次長公宅	大島 正治	4-2911	町立杓形小学校		4-2055
<b>議会事務局</b>			町立新湊小学校		4-2278
利尻町議会事務局		代4-2345	町立杓形中学校		4-2126
事務局長宅	米本 末松	4-2284	町立仙法志小学校		5-1044
<b>国保中央病院</b>			町立仙法志中学校		5-1106
利尻島国保中央病院		4-2626	<b>消 防</b>		
院長公宅	北守 茂	4-2478	消 防 本 部		4-2742
内科医長公宅	阿部 昌彦	4-2416	消 防 署		4-2119
外科医長公宅	石川 雅彦	4-2041	仙法志分遣所		5-1119
事務長宅	富樫 昇	4-2413	利尻礼文消防事務組合		4-2742
<b>碎石事業所</b>			消 防 長 宅	小坂 俊市	4-3210
利尻町碎石事業所		代4-2530	総務課長公宅	上田 紀宏	4-2984
所長公宅	柴田 喜義	4-2157	消 防 課 長 宅	不破 忠雄	4-2338
現場長宅	飯尾 春美	4-2696	<b>警 察</b>		
<b>国民宿舎りしり</b>			杓形警察官駐在所		4-2110
国民宿舎りしり		代4-2001	仙法志警察官駐在所		5-1110
支配人宅	根塚 浅夫	4-2264			

※ 役職員の一部異動により公宅等の電話番号が変りましたので、ご用の方は良く確認の上  
ダイヤルして下さい。

※ この番号表は、綴りこまず、お宅の電話帳や見やすい所に貼っておいて下さい。



議会だより

◎利尻町課設置条例の一部を、改正する条例

この条例は、利尻町行政改革大綱に基づき、現行の六課から住民課一課を削減して五課とし、あわせて、現行の農林商工課を商工課に改め機構の簡素合理化を図る条例改正であります。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、議会の同意を得て、菊池清七氏を再任しました。

◎教育委員会委員の任命について

任期満了に伴う教育委員会委員に、議会の同意を得て、現教育長の五十嵐国夫氏を再任しました。

◎人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

利尻町沓形字緑町・堀川互氏(現委員)が推薦されることに決りました。

◎昭和六十二年度利尻町一般会計予算

歳入歳出予算の総額は三十三億五千四百万円と決まりました。

(内訳は十四ページに掲載) ◎昭和六十二年度利尻町特別会計予算

- 一、利尻町簡易水道特別会計
- 一、利尻町国民宿舎特別会計
- 一、利尻町国民健康保険事業特別会計

一、利尻町老人保健特別会計  
歳入歳出予算の総額は十五ページに掲載。

◎利尻町砕石事業会計予算  
収益的収入の総額は十五ページに掲載。

### 職員人事異動

町では四月一日付で、職員の新採用と、異動を行いました。新採用職員と異動職員は次のとおりです。( )は前職

- 松田 実 (利尻礼文消防事務組合)
- 砕石事業所長 柴田 喜義 (農林商工課長)
- 利尻礼文消防事務組合 上田 紀宏 (住民課長)
- 総務課総務係長 中村 謙造 (総務課税務係長)

総務課税務係長

白幡 忠雄 (民生課保健係長)

民生課町民係長

鎌田 喜男 (国保病院組合)

民生課保健係長

斉藤 俊明 (総務課総務係長)

商工課商工観光係長

北島 利行 (仙法志支所次長)

商工課広報交通係長

松枝 正敏 (住民課広報交通安全係長)

建設課水道係長

前川 修士 (農林商工課農林係長)

仙法志支所次長

宮森 英明 (教育委員会)

教育委員会

上遠野浩志 (農林商工課商工観光係長)

国保病院組合

水橋 敏三 (建設課水道係長)

民生課町民係

小杉 雪乃 (住民課住民係)

水産課水産係

飯田 敏一 (農林商工課農林係)

商工課商工観光係

田尻 隆志 (住民課住民係)

商工課広報交通係

根上 光 (住民課広報交通安全係)

建設課建設農林係

平等 清文 (水産課水産係)

沓形保育所主任保母

兼田美千代 (仙法志保育所保母)

仙法志保育所主任保母

工藤 明美 (仙法志保育所保母)

仙法志保育所保母

佐孝 直美 (沓形保育所保母)

赤坂 良勝 (公民館公務補)

仙法志中学校公務補

公民館公務補

佐孝 福蔵 (久連小学校公務補)

和島 澄代

齋藤美智子

板谷 静夫

小杉美智子

稲葉 恵子

※係名称の変更

水産課港湾係↓水産課港湾漁港係

建設課施設係↓建設課建設農林係

建設課建設農林係

# 5千400万円

## 12.5%増

利尻町の昭和六十二年年度一般会計予算が決まりました。

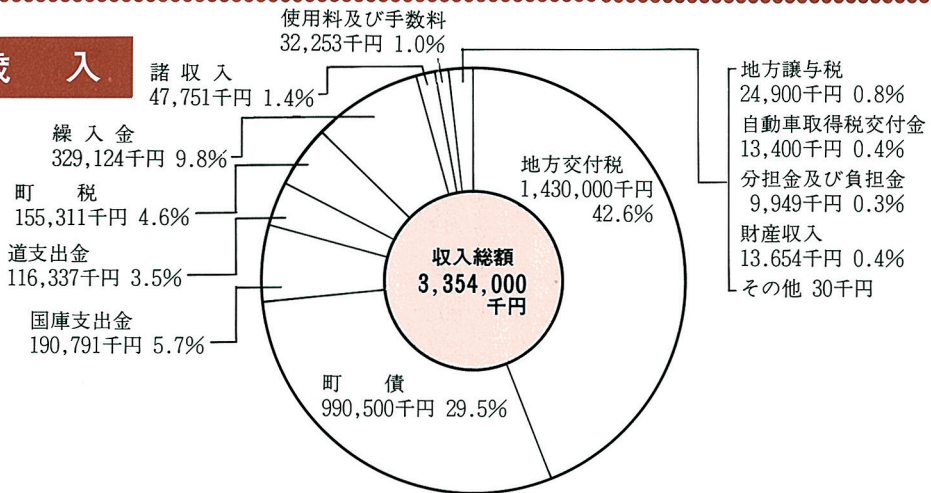
『くらしの豊かな町づくり』『明るく住みよい町づくり』『創造性に富んだ町づくり』の三つを柱として予算の編成に取り組んでいます。

国・地方とも極めて厳しい財政状態のなかで、新総合振興後期三ヶ年計画にのっとり、産業の振興と生活基盤の整備をめざしています。事業については、効率・緊急度を勘案し、町民サービスの向上を低下することなく、慎重に財政運営を図り、最大の効果をあげたいと考えています。

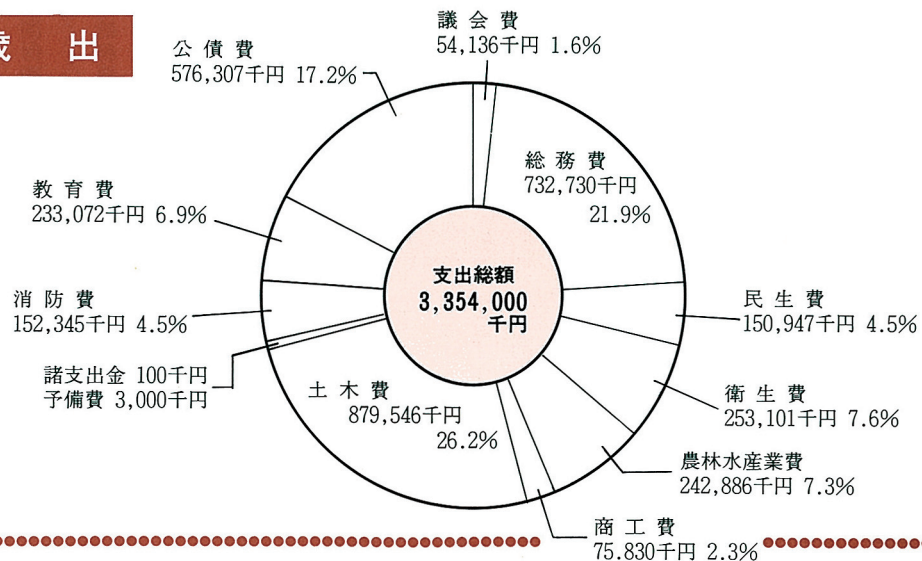
みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。



### 歳 入



### 歳 出



# 昭和62年度各会計決る

# 一 般 会 計 33億

## 昭和62年度おもな事業

役場庁舎建設工事  
 生活排水処理施設整備工事（仙法志本町地区）  
 沓形岬公園便所新設工事  
 防風林造成事業（栄浜地区）  
 保安林改良事業（蘭泊・神磯地区）  
 生活環境保全林整備事業  
 町有林保育事業  
 復旧治山事業（蘭泊・久連地区）  
 予防治山事業（蘭泊・久連地区）  
 小規模治山事業（元村・本町地区）  
 経営林道仙法志線開設工事

### ◎ウニ・アワビ増殖事業

- 種苗生産事業
  - 南利尻地区大規模増殖場事業（仙法志地区）
  - 海水交流改善施設整備事業
  - アワビ海中養殖実験事業
  - ウニ移植放流事業
  - ヒトデ駆除事業
- ### ◎コンブ増産事業
- 小規模増殖場造成事業
  - チェーン振雑藻駆除事業
  - 投石事業
  - 養殖コンブ増産対策事業

### ◎漁船漁業対策事業

- 韓国漁船及び底引船対策
  - 魚礁漁場造成事業
  - サケ・マスふ化放流事業
  - サクラマス海中養殖実験事業
  - ミズタコ調査事業
- 地方港湾沓形港改修事業  
 漁港整備事業（仙法志漁港・新港漁港・蘭泊漁港）  
 海岸整備事業（仙法志・蘭泊・久連・長浜海岸）  
 船揚場整備事業（御崎第2・泉町船入潤・富士見町第2）  
 沓形線道路改良工事  
 仙法志臨港線特殊改良工事  
 市街東1条南1線特殊改良2種工事  
 仙法志・鬼脇線防雪工事  
 市街南2線特殊改良2種工事  
 公営住宅新築工事  
 沓形市街36号線側溝改修工事  
 仙法志・鬼脇線道路改良事業  
 東利尻・利尻線特殊改良1種工事  
 教員住宅新築事業  
 保津船収納小屋建設工事  
 天望山スキー場リフト新設工事

## 昭和62年度各会計総括表

（単価：千円）

会 計 別	本年度予算額	前年度予算額	比 較
一 般 会 計	3,354,000	2,980,800	373,200
特別会計			
簡易水道会計	54,190	53,834	356
国保事業会計	295,727	303,103	△ 7,376
老人保健会計	313,431	227,380	86,051
国民宿舎会計	129,000	134,500	△ 5,500
企業会計			
碎石事業会計 （収益の収入）	424,355	406,320	18,035
合 計	4,570,703	4,105,937	464,766

## 町税収入予算内訳

（単位：千円）

税 目	税 額	比 率
町 民 税(個人)	74,886	48.2 %
法 人 町 民 税	14,915	9.6
固 定 資 産 税	33,912	21.8
軽 自 動 車 税	1,126	0.7
たばこ消費税	22,384	14.4
電 気 税	8,088	5.3
計	155,311	100.0

## 歳出性質別内訳

（単位：千円）

区 分	金 額	比 率
人 件 費	465,176	13.9 %
物 件 費	226,574	6.8
維 持 補 修 費	41,717	1.2
扶 助 及 び 補 助 費	408,988	12.2
公 債 費	576,307	17.2
事 業 費	1,573,722	46.9
そ の 他	61,516	1.8
計	3,354,000	100.0



# 一 般 質 問

吉 田 議 員

このたび開かれた第1回利尻町議会（定例会）  
において、一般質問がありました。

その質問の要旨は次のとおりです。

質 問

## 一、青柳橋から旧診療所までの 道路拡張工事に合わせ 裏町道路の新設について

この度、町理事者を始めとし、関係各位のご努力により、長年にわたり地域住民が要望し、また、懸案事項でありました仙法志・鬼脇線の改良工事が着工される運びとなり、町道の整備促進はもちろんのこと、交通問題が一気に緩和されますことは誠に喜ばしいことであります。

アワビ資源の枯渇対策につきましましては、町関係者はもちろんのこと両漁協共に真剣に対処されておりますことは、ご承知のとおりであります。しかし、過去において多額の費用を投入し種苗を放流した、その事業効果がいまだ現れていない事は誠に遺憾であります。

## 二、アワビの種苗放流事業の 将来展望について

組合員も、これといった方向付けも出来ず、色々と模索しているように聞き及んでおりますが、このまま放流事業を継続していくべきか、陸上養殖にふみさるべきか、選択する時期が到来しているものと思えます。新年度に向かつてどのようなお考えかお伺いいたします。

## 三、町の行政 改革について

国の緊縮予算及び国・道からの補助金の削減等厳しい政策のなかにあつて、我が町も行政改革委員会の答申を得て、昨年度から除々に行政改革が進んでいくようでありましたが、六十二年度においては、どのような改革がなされようとしているのか、また、今後どのような改革を進めようとしているのかお伺いいたします。

答 弁

第一点目の道路の件ですが、この道路は幅員が二・五m位で側溝もありませんし、土地も民有地で、いわば私道です。しかし、民家七世帯ありますし、自治会からも整備されるよう強い要望がありますので、どの程度拡幅できるか具体的には言えませんが、本年度から行われる仙法志・鬼脇線の道路拡幅工事にあわせて、この裏道路も整備し

たいと考えております。  
第二点目のアワビの件ですが、放流の経過につきましては、天然貝では昭和三十六年頃から毎年三万ないし五万粒を放流してきております。  
人工種苗は放流してから五年位しかたつておりませんが、この間二年続きの流水で被害を受けたこともありまして、その放流効果の確認がむずかしいという経緯があります。  
流水接岸後も天然種苗五十万粒、人工種苗五十万粒の百万粒を放流しており、なんとか資源が回復してくれることを期待しております。

陸上養殖については、昭和五十八年度頃から漁協と共に東北地方等、先進地を視察調査しております。いずれにしましても、全量、海中放流から方向を変えて養殖事業にも取り組んで行きたいと考えております。  
例えば、本年度試験的に基物を使っての海中の飼育、導流溝や港の潤内等を利用する飼育を実施してみたいと考えておりま

す。また、陸上養殖についても採算性の点で、調査・検討しているところだ。

今後とも調査・研究を行っていきませんが、沓形・仙法志両漁業協同組合も、この問題につきましても真剣に取り組んでいただきたいと考えております。

第三点目の行政改革の件ですが、昭和六十二年度におきましては、組織・機構の合理化として、現在の六課を一課削減して五課にし、課・係の再編成をしております。また各種審議会・委員会の見直しとしては、港湾審議会と漁港審議会を統合、農業委員会・社会教育委員会・公民館の運営審議会の定数の削減、交通安全推進協議会・交通安全推進員の廃止などを行いたいと考えております。

また、職員の給与の適性化・事務の民間委託・OA化など、更に検討し、昭和六十三年度については、行政改革大綱のなかで実施できなかったものを、完全実施するよう努力して行きたいと考えております。

### 新採用の抱負



総務課総務係

### 和島 澄代

四月一日から利尻町役場の職員となりました。まだ社会人という実感は薄いですが、いつまでも高校の延長ではやっていけないと思っています。高校時代は、周りの友達と同じことをしていればよかったです。これからは、何をすべきか自分で考え、責任を持った行動をしなければなりません。今はまだ、仕事を始めて日も浅いのでわからない事がたくさんありますが、先輩方に教えてもらった事を頭に入れて、同じ失敗を何度もくり返さぬよう少しでも早く職場になれて、仕事を覚えていきなりたいと思っています。これから利尻町役

場の職員として一生懸命努力し、がんばっていきなりたいと思いますのでよろしくお願ひします。



沓形保育所保母

### 斉藤 美智子

短大を卒業して、札幌で二年保母として勤めてきました。四月から、幼い頃通い慣れた保育所に、勤めることができ、とてもうれしく思っています。

勤めて二週間余りですが、利尻の自然の中で育った、元気いっぱいの子ども達に囲まれ、緊張と喜びの毎日です。

技術面においても、まだまだ未熟な私ですが、常に子ども達の声に耳をかたむけて、心を受けとめながら、一人ひとりの良さを、大きく伸ばしてあげられるような保母でありたいと思っています。たくましいからだ

### 所だより 在 着任に あたつて

豊かな心をもった子ども達になつてもらえるように、私自身も一生懸命努力して、頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。



沓形警察官駐在所

### 巡查 能登 保

四月二日、旭川東警察署から、稚内警察署沓形警察官駐在所に着任しました。

自己紹介します。

私は、昭和三十二年七月一四日生、身長一七七センチ、体重六〇キロ、血液型A型、妻敏子二六歳、子供男子二人、二歳五カ

### 免許証更新時講習会

- 5月26日(火)
  - 利尻町民センター (沓形)
  - 午後6時30分
  - ※当日はボールペンを持参して下さい。
- 沓形・仙法志交通安全協会

月と五カ月です。旭川東警察署では、外勤課外勤係として派出所に五年六カ月間勤務し、巡回連絡、交通監視、夜間パトロールを通じ住民と接触して、常に住民サイドに当たって、奉仕の精神を忘れず、治安の維持に当たってきました。地域の人々との対話を通じて微力ではありますが、治安維持のため努力する覚悟しております。当地方の長所を十分に吸収してひとまわり大きな人格形成をめざして頑張りますから皆様の御協力を切望する次第です。

健康な毎日を送るために

# あなたと保健室



## 五月・六月は 検診月間です

春になり、漁がだんだんと忙しくなるに従がい、検診も色々増えてくるようになります。といっても六月の始めまでに終りますが、これは盛漁期になる前に自分の身体に気をつけて、調子を整えておいてもらいたいからです。マラソン前の準備運動、車の試運転というところでしょうか。五月・六月に行なわれる検診を表にしてみました。昨年に引き続き一回の検診で二種類の検診項目が受けられるようにしてあるのが増えています。今回はガンの検診が多いのですが、ご存知のように三十代から七十代までの間は死亡の第一位にあげられている病気で。しかし、毎年検診を受けることで、早期に発見でき、生きながらえることのできる病気でもありません。つまり、あなたの心がけ次第で、病気を早くに見つける事も遅れにしよう事もできるという病気なのです。高血圧や心臓病、糖尿病等も、もちろん早くに見つけた方が、病気をコントロールしやすく、生活もしやすいのですが、少々悪くしてから見つかった場合でも、医師の指示を良く守って、病気にあつた生活を送っていけば、病気と仲良くしながら生活していく事は、可能です。でも、ガンは別です。眠っているうちに見つけて取らない限りは、生命の保障がむずかしくなります。眠っている子をおこしてしまつて手がつけられないように、ガンは大きくなるにしたがい、わがままに、好き勝つてに、あばれるようになります。そうする

### 5月・6月に行なわれる検診

日程	検診名	対象者	検診内容	場所	受付時間	料金
5月20日	営業者 一般健康診査	営業者 検診を受ける人	一般健康診査 <small>(身体計測・検尿 血圧・血液検査 内科診察)</small>	公民館 老人福祉センター	午前10時～ 午前11時	70歳未満のみ 六〇〇円
5月21日	女性検診全	女性	子宮癌・乳癌の 同時検査	公民館 老人福祉センター	午前8時～ 午後1時30分	70歳未満 一、七〇〇円 一、〇〇〇円
5月30日	胸部検診	全地区住民	結核検診と 肺癌の同時検査	各地区巡回	地区時間により 違います。	無料
5月31日	胃腸病検診	久連・長浜地区 沓形地区 仙法志地区	胃バリウム検査	老人福祉センター 寿の家	午前5時～ 午前8時	70歳未満 一、四〇〇円 一、〇〇〇円
6月1日						
6月5日						
6月6日						
6月7日						
6月8日						
6月9日						

と、だんだん治療が困難になつてしまふのです。ガンは、ポックリ死ぬような病気ではありません。早期に見つけて取り除かない限り、死ぬまで、つらく苦しい治療とたたかていかなければならない事が多いのです。家族は、その姿を見ていかなければなりませんし、沢山の治療費と入院にかかる色々なお金を用意していかなくてはなりません。本人も、家族も大変な思いをします。そして地域の人にも保険税という形で迷惑をかけるようになります。せめて、検診でわかるガンだけでも早期発見に努めていきませんか。自分の健康を確認して、仕事をしましょう。

保健婦 平野・記



(49)

利尻の語り(10)

狐に騙された話

語り 石垣 茂さん

狐に騙された、かつては、この言葉がよく使われていました。

狐と人間のかかわり合いは、とても深いものがありました。今でこそ、狐に騙された話はほとんど聞くことはなくなりまして、古くは狐との遭遇はかなりあったようです。

しかし、現在に語り伝えられている狐に騙された話をまとめてみると、共通する要素がいくつかみられます。

騙されるのは必ずといっていいほど夜であること、一人であること、人家から離れていること、稲荷の小さな祠があることなどです。

また、狐が人間を騙したところは、東利尻町の南浜から野中にかけての、チカップと呼ばれ

たところ、沓形では種富町でした。

それではなぜその二カ所に集中しているのか、あるいは、古く、たくさんいた狐がなぜ現在のみられないのか、その理由は何なのか、といった謎の部分が多くありますが、今回は、数ある狐の話から、チカップでのできごとを紹介します。

「礼文さね、私が二十歳さ、ここに昆布ねえもんだから干し子に行ったの。昆布干しに。礼文の香深のね、柿崎という人なんだ、使った人が。」

昆布干し終って、島に帰ってきたんだが、鬼脇に船ついでさ、それが十二時頃なんだわさ、夜中の。

そして、いっしょに行った田

原さんとこの二番目の人が南浜に嫁になっていたの、そして、田原さんがそこに泊ったべし、私が多分、十二時半ころだべな、帰ってきたんだ。行李一つしよってな。

ところが、チカップのところで、工事だべさ。海岸まわってくることにしてるのさ。で、十二時半頃だべさ、背中に行李一つしよって渡ろうとしても、橋ねえもんだから、どこみたてることね。

秋深まったときだから、ドングイの根っこさつまつてあがつてきたら、女の人がね、立ってるのさ。これぐらいしか離れてねえもの。

わし、ビックリしてね、下からずっと見上げたら、着物きていて、下からだらよく見えるん

だわ。

そして、白い足袋さ草鞋はいて、いやあ、あがった瞬間ビックリしてしまつて、ものなんもいえねえ。

して、その女の人がね、その海岸まわって、こっちこいばいってさ。

それ、耳にちゃんとはいってらんだけど、二十のときだから、ところがね、さあ、その女の人、どこ行くかといつたら、ゆたたとおり行つてしまつたんだわ。行つたからもういいとおもつて立つ気なつたら、ぜんぜん、もう、はあ、腰がきかねの。

そして、髪さ手やつたら、髪の毛が一本立ちなつて、バラバラバラって。

さあ、玉の汗流して、して、この人は、人だもんだか狐の化物だがつて疑つてしまつたの。その途端、なんぼずつても立たねえのよ。

そこは、山の方に稲荷さんね、南浜の人があげ物するとこあんだわ、そこまではつてきたんだ。約十時か十五時。

そこへきてても、全然腰さかね

の。それでね、山の上で、煙草、バット二本のんで、それからどうかこうかやつたら立つにいいの。そして、家きたのは一時すぎだった。

家きたら、母親ね、幽霊がきたと思つたと、あんまりワシの顔が青ざめていたもんだから。」



利尻山神社境内の稲荷堂

(写真と本文とは関係ありません)

石垣 茂さん

明治三五年五月七日生

利尻町仙法志字御崎

採録 西谷栄治(利尻町立博物館学芸員)



◎毎年この時期は、全国各地で大きな火事がおきています。利尻も過去に沓形や鴛泊の大火を経験しています。

◎これからは家を留守にすることが多くなります。出かける前には、ストーブ・ガスの元栓、タバコの吸殻などもう一度たしかめて!!

◎町を悲惨な火魔の手から守るため、自分の使った火は最後まで責任をもって、火の用心!!

**防火の大役**  
**あなたが主役!!**



**消防だより**



少年消防クラブ・婦人防火クラブ・防火管理協会が町内を防火パレード。「火の用心」を呼び掛けました。

あわてないでね  
**火事と救急は**  
局番なしの **119番**

皆さんの家庭の  
防火査察をします  
五月中旬より、消防の職員が皆さんの家庭を訪問して、ストーブや風呂ガスコンロなどが安全に使われているかを点検にうかがいます。

# 利尻町事務分掌一覽表

昭和62年 4 月 1 日現在

町 長 保 野 力 雄

助 役 糸 谷 克 明 収入役 白 幡 昭 三 教育長 五十嵐 国 夫

総 務 課	課 長	佐々木捷昭	総 務 係	係長 中村謙造 係 坂本輝彦・本波修悦・和島澄代(新採)
			財 政 係	係長 保野洋一 係 安藤敏朗・塩谷美静
			管 財 係	係長 佐藤元紹
			税 務 係	係長 白幡忠雄 係 小杉和樹・古屋恵一(出納係兼務)・新谷 司
			総務課付	安田太郎 公務補 吉田茂春(臨時)
			出 納 係	係長 不破 豊 係 張間静也
民 生 課	課 長 (保育所 長兼務)	笹原喜一	町 民 係	係長 鎌田喜男 係 小杉雪乃
			福 祉 係	係長 斎藤順悦 係 酒本俊司
			国民年金係	係長 下家邦彦
			保 健 係	係長 斎藤俊明 係 高山博通・葛西圭吾
			保健指導係	係長 平野ひとみ 保健婦 秋元千枝子 係 柴田修子
			省形保育所	主任係母 兼田美千代 係母 柿元宏美・葛西千賀子・浜田香織・斎藤美智子(新採) 事務 川端真由美 公務補 工藤ソメ・佐野和子
仙法志保育所	主任係母 工藤明美 係母 佐孝直美 公務補 石垣信子(臨時)			
水 産 課	課 長	田島順逸	水 産 課	係長 寺山 明 係 飯田敏一・安達克幸・佐野洋之
			港湾漁港係	係長 大腰 敏 係 小坂 実
商 工 課	課 長	松田 実	商工観光係	係長 北島利行 係 田尻隆志
			広報交通係	係長 松枝正敏 係 根上 光
建 設 課	課 長	柿元秀夫	建設農林係	係長 後藤博之 係 八講博之・熊谷幸男・平等清文
			水 道 係	係長 前川修士 係 西島孝人 現場主任 加藤孝四郎
仙法志支所	支所長	澤谷 勉		次長 宮森英明 係 谷内イミ・加島利一・佐藤佳伸
国民宿舎				支配人 根塚浅夫 係 今野 淳 調理師 張間真理男
碎石事業所	所 長	柴田喜義	事 務	次長 山本 敏 係 平野実一 現場長 飯尾春美 現場主任 工藤 均・北村正人 運転技術員 関 恩

教育委員会	次 長	大島正治	総 務 係	係長 堀田秀利
			学校教育係	係長 上遠野浩志 係 小玉めぐみ・斎藤喜好(兼社会教育係)
			社会教育係	係長 川端一輝 係 村谷邦彦(公民館)・沢谷 敬 社会教育主事 佐々木日出雄
			博 物 館	学芸係長 西谷栄治 係 川合広恵
			各学校公務補	查小 脇川勘次郎 新小 佐藤ハツエ 查中 照井春治(臨時) 仙小 佐孝静江 仙中 赤坂良勝
			各施設公務補	公民館 佐孝福造 研修センター 角脇康一(臨時)

議会事務局	局 長	米本末松	書 記	矢田秀喜
-------	-----	------	-----	------

国保病院組合	事務長	富 樫 昇	総 務 係	係長 水橋敏三 係 小玉喜衛・中山みゆき・中川広之・大窪純江
--------	-----	-------	-------	--------------------------------

消防事務組合	消防長	小坂俊市	総務課長	上田紀宏
--------	-----	------	------	------



# 戸籍の うごき

自 3月1日  
至 3月31日

## ご厚情に 感謝します

このたび次の方から愛情銀行に金一封が預託されましたので、紙上を借りてお礼申し上げます。

仙法志字元村 玉谷 隆様から、  
父文吉様の香典返しを廃して

仙法志字政治 峨家 豊様から、  
妻正子様の病氣見舞返しを廃して

稚内市こまどり四丁目  
小坂谷 博様から、父佐次郎様の  
香典返しを廃して

杓形字神居 齊藤順悦様から、  
長女ちづる様の入学祝返しを廃して

仙法志字長浜 古山善市様から、  
母ツマ様の香典返しを廃して

杓形字種富町 清水良治様から、  
兄久吉様の香典返しを廃して

仙法志字政治 高村秀弥様から、  
病氣見舞返しを廃して

杓形字緑町 松枝正敏様から、  
長男俊介様の入学祝返しを廃して

(利尻町社会福祉協議会)

## よせられた善意

このたび、次の方々から寄付がありました。町では善意に感謝し、有意義に使用する予定しております。

(株)吉安組代表取締役吉安 隆也氏から、利尻町役場庁舎建設資金として  
金百万円

利尻島ロータリークラブ 会長加藤孝三郎氏から、利尻町役場庁舎落成記念品として  
目録(金五十万円相当)

稚内市 北辰コンサルタント(株)代表取締役和田由之氏から、金二十万円

## お誕生おめでとう

ご報告いたします



◎出生  
月日住所 氏名 保護者続柄  
27日出町 谷永憲司 諭 長男

## おくやみ

申し上げます

## ◎死亡

月日住所 氏名 年齢  
24長 浜 古山 ツマ 八〇歳  
25政 泊 加茂秀太郎 七五歳  
27久 連 小屋 治 四八歳



## 「苦情なくして明るいくらし」

行政相談委員に堀川氏委嘱される

行政相談委員として長年活躍されておりました荒木氏に代わる行政相談委員として堀川氏が昭和六十二年四月一日付で総務庁長官から委嘱されました。



行政相談委員は役所と皆さんのパイプ役です。

皆さんから、年金、窓口サービス、登記、道路、河川、郵便などの役所の仕事についての苦情、要望、意見をお聞きして、改善を図ります。相談は無料で簡単です。

口頭、電話、手紙で行政相談委員にお申し出下さい。

行政相談委員の氏名・住所は

堀川 利尻町杓形字緑町  
電話 四一二八三番

## 今月の納税 固定資産税第1期

(納期 5月31日まで)

納税は便利な  
口座振替で...



春の全国交通安全運動  
(5月11日~20日)